



▶今月の表紙◀  
field: 北海道・大沼  
angler: 石井旭舟  
photo & layout: 本誌・里

# 北海道・大沼

集 壮大なスケールを誇る「憧れの地」に、巨へらを求めて...  
特 5日間に亘る、超感動巨編!

石井旭舟「へらぶな浪漫街道」スペシャル

釣り場割引クーポン券 p.163~  
野田幸手園 椎の木湖 清遊湖 谷和原大沼上尾園  
F.A吉羽園 谷養魚場 将監 柳生F.P 筑波白水湖  
泉壠 逆井HC 友部湯崎湖 三和新池 川越FC  
鳥羽井沼大上へら池 霧の沼 小川つり堀園 府中HC  
清川つくしFC 千代田湖 舟宿千和 相模湖 釣舟 五宝亭  
相模湖 釣舟 天狗岩 吉森HC 甲南へらの池  
当麻池 水藻FC朝日池 釣り堀八十八 浜野HC  
精進湖 舟宿 金風荘 西湖 釣舟白根 西湖 釣り宿 丸美  
西湖 釣り宿 青木ヶ原

- 2 イントロ 田瀬湖ひとすじ40年。稲葉市郎さん
- 28 小池忠教 激釣テクニカルアドバイス  
《第6回》両タンゴを極める! ゲスト・福富大祐さん
- 34 生井澤聡 挑戦者魂  
《第6回》「千葉県・亀山湖」
- 40 杉山達也 UTLA SPLASH  
《第6回》パリバスカップ全国大会 in 甲南へらの池
- 48 中澤岳 攻めの美学  
《Case.6 三和新池》激流を打開する、攻めのペレ宙。
- 54 伊藤さとこ「将鱈へらスーパープロフロロ&スーパープロPlus」で武威の池の大型へらを攻める!  
早川浩雄「鉄壁・早川スタイル」  
《第12回》千代田湖、深田両タンゴ
- 58 AREA REPORT  
吉野公園(茨城県) 本誌・伊藤洋一  
赤祖父湖(富山県) 山本一朗  
南坂貯水池(岐阜県)、室生ダム(奈良県) 後藤誠、前田誠志  
白岩池(福岡県) 河口正伸
- 134 竹竿の似合う釣り場  
《第6回》中の島センター
- 137 第4回 富里乃堰へら鮒釣り大会
- 138 戸張誠 激釣の余韻  
《第4回》【手練】丹生湖
- 143 岡田清 Deep Side Anzle  
《Vol.5.1》【盛期版進化型両クル】F.A吉羽園
- 148 田辺哲男 MYへら道  
《へら道その十四》相模湖、男の本湖撃ち!
- 152 小林恭之 ノルマワゴ!!  
《第6回》野池で奇跡の40kgを釣れ!!
- 156 天野正由 緑萌ゆる釣り場を巡る  
《第6回》G・Wは釣り(に行き)まくり

- 194 榎網久 全開MAX  
《第5回》山中湖の巨へらを先取り!!
- 200 北川穂積 西の交友録  
《第三十回》ゲスト・橋本氏 釣り場・一の坂ダム(山口県)
- 202 第12回 椎の木湖杯  
釣り味  
《第17回》「正八寿司」盛り合わせ寿司
- 206 釣果予想クイズ
- 208 フィッシングレディ  
《今月のレディ》森本裕美さん 逆井HC
- モノクロ
- 66 乗込み特別企画 僕が巨へらを食わせるまで 五月雨は涙色編
- 71 N.O.O.B.東レ将鱈へらぶなカップ関西大会 甲南へらの池
- 74 へら鮒釣り 超基本講座  
《第41回》竹竿使いの超基本②
- 86 ガチンコ道場  
《第32回》2008 VARIVAS CUP 関東地区予選開催!!
- 96 柴舟「SAIKAI倶楽部」懇親会 野田幸手園
- 97 江成公隆のトーナメント、復活への道。  
《Vol.73》のび太の開幕前夜
- 102 水辺のプラネタリウム 吉本亜士  
《今月の星座》「天草四郎」
- 106 最狂へら戦士養成所「鮒の穴」 漢タカハシ  
《第65回》ヘルニア物語 第一章 Dr.モロの陰謀
- 110 へら鮒Cafe 西田美明  
《Vol.7》「虹の向う側」

- 114 永久釣りバカ宣言。斉藤心也  
《第7回》「迷った大亀!」
- 116 水と戯れ、風と遊ぶ ホワイト  
《第10回》「携帯電話の有効利用とは...」
- 118 野田幸手園新聞
- 120 「つり具の華へら」1周年記念大会 花見川
- 161 ワクワク管理釣り場情報
- 169 ダン・クラブ対抗へら鮒釣り大会・友部湯崎湖賞金大会
- 170 小売店情報
- 175 ★へら鮒BOX  
里ちゃんのイケイケ編集長雑記  
情報発信基地  
09羽生吉沼賞金100万円へら鮒釣り大会  
がまかつへらぶなチーム対抗戦西日本大会 甲南へらの池  
コラム「上村流」 上村泰生  
コラム「日研だより」 日研広報部長・遠藤克己  
コラム「紀州、想いの竹」のものがたり 中巻伸行  
プレゼント発表  
広告索引  
編集後記

STAFF

- 発行人 根本百合子
- 編集長 田中里史
- 編集部 大場勝良 諸富一秋 伊藤小百合 伊藤洋一
- へら鮒NET 根本大作 八十田昌広
- 企画 <オフィス・えぶ> 藤原 肇

※「釣り人のお仕事」は誌面の都合によりお休みさせていただきます。

この物語は、  
栄光、そして挫折を味わい、  
今、再び這い上がろうとする一人の男の人間ドラマである。

# 江成公隆の トーナメント、 復活への道。

text and photo by Kimitaka Enari and Satoshi Tanaka  
業界初、Web運動企画！ (URL) <http://hoosaryokohamaturaminet>

〈Vol.73〉

## のび太の開幕前夜

江成は、のび太に似ている。  
メジャートーナメント開幕寸前。  
今月のタイトルは、まあそういうことです…。

by 里ちん

すべり込みセーフ。

タッチの差で参加出来なかったバリバスカップ。次はきちんとしなくちゃと、G杯は渋谷サンスイの武重氏に電話でお願いした。同日の晩、ダイワのウェブを覗くと、申し込み最終日だった。のんびり屋さんにも程があるというのだが、なんとか間に合った。6月1日(G杯)、8日(ダイワ)と二週続けての富里乃堰。5月25日現在、両ウドンが猛威を振るっているというイヤな情報だが、僕の少ない釣行回数の中で最も行く回数が多いのが富里乃堰だし、4月のナリース例会ではいい釣りが出来たし、ぶつつけ本番ながら必勝態勢(?)である。

まぼろし。

何かに熱中すると、なぜか最初に実力と見合わない結果が出てしまう傾向のある僕は、いつも後からとても苦労する。それは、足りない知識を補うための猛勉強だったり、背伸びするつもりはないのに、分不相応の集まりに呼ばれてしまったの冷や汗だったり。

調子に乗って知ったかぶりをしないよう心がけてはいても、「知らない」とは言えない空気が支配している場もある。どうせ見透かされているに決まっているから、本当は「知らない」と言い切るのが、長い目で見れば間違いないカッコいいのは分かっている。しかし、それがなかなか出来ないのが僕だ。プレッシャーをますます増加させることになり、自分で自分の首を絞めていく。

それでも自分なりのロードマップ上で、順調に駒を進める事が出来ていると感じられて

いる間は、プレッシャーから解放されていくと同時に、自信も深まっていく。人が天狗になるのはこういう時なのだろう。自分一人の力でその場にいるという錯覚に陥ってしまう。二十歳前後から再開したへら鮎釣りも最初から実力に見合わない結果が出てしまったし、ここ数年の仕事でもそうだった。熱中度合いもほぼ同じレベルではなかったかと思う。もしかすると、遊びではないことからの家族への罪悪感の希薄さで、釣り以上に熱中していたかもしれない。まさに「寝食を忘れて」という感じで、楽しくて仕方がなかった。

一銭にもならない遊びである釣りに熱中するよりは、面白がって取り組んでいるとバレてはいても、仕事なら家族の理解を得られやすい。いや、度を越した熱中ぶりには理解は得られにくいものの、あからさまな反対もされにくい。一家のメシのタネだから当然だ。

仕事には、起業して自分で作りあげた商品売ってやる仕事と、もともとある組織に入ってから分けてもらう仕事がある。前者は社長ということになるかもしれないが、労働力を自ら提供しているのであれば、収入面は別として労働者である。後者は、労働時間売って対価を得るといって雇用契約で成り立つ。熱中していいのはどちらか。

店長になる前、僕は割り切った仕事に取り組んでいた。異動後になぜか仕事が目白なくなり、気が付けば店長になっていた。

前任者の遺産に一細工して、適当にぶちかました結果が晴れ舞台。当時は、勘違いしないように必死に自分に言い聞かせた。上司に嫌味を言われながらも、現在もなお続けている。労働の仕事は、軸足を見失ってはいけないという自分への戒めのもりだった。

自分では何も変わっていないと思っていた。先月号の僕のグチを顔面通り受け止めて頂いていたとしたら、「部下思いのなんて優しい店

長さん♡」な感じだったかもしれないが、おそらく僕は、やはり管理者としての冷酷さと傲慢さを常に周囲に放っているのだろうと、自覚のないまま一昨日思った。なぜそう思えたかと言え、自分が歯車であることを完全に忘れていたことに気付かされる事態になったからだ。

僕の立場ではなす術のないまま、多くのものを一瞬にして失った。

歯車がオリジナリティで勝負しようと思うこと自体が間違い。きちんと計算された通りに動いてくれないと困る。派手な成績を叩き出した後は、ずっとそれだけを期待される。僕はそれを維持しつつ、上っ面だけではなく中身まで本物に磨き上げようとした。

インチキではなくきちんとコンプライアンス精神に則り、部下のためを思っていたことも、結果的にはみんなの負担を増やしただけだったし、上から見れば、余計な仕事をしているとしか映らない。そもそも僕という歯車が現在の位置に組み込まれたのも、他人の気まぐれでしかなかったはずだ。自覚のない思い上がりほどタチの悪いものはない。ついで来ざるを得ない部下には申し訳ない思いだ。

この連載でも「しょせん歯車」という言葉はさんざん使ってきた。「貧乏人にも金持ちにもそれぞれの苦労がある」とも書いたような気がする。どんな立場になったところで、満たされることはない。

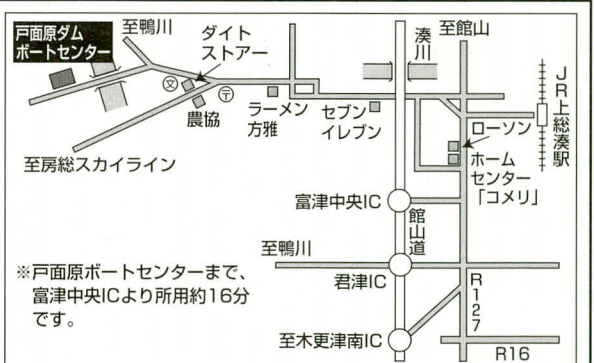
会社組織で言い換えれば、どんなに高いポストにのぼったところで、歯車でしかないというところであり、立場が言わせる物言いと目で見れば、上司の無茶な指示にいちいち腹を立てることもない。なのに、自分も歯車であるという再認識に、ここまで驚くことに呆れた。結局それらの言葉は日頃の僕の頭の中から消え去っており、深夜の残業でキツイという話もポーズでしかなかったことになる

のだ。歯車が仕事に熱中し過ぎてはいけない。歯車が熱中しているのはオフだけだ。幸い、僕にはへら鮎釣りがある。たくさん仲間もいる。

ほんの数日前までは、たま〜に油を注しながら高回転を維持してきた。年明けからは諸々アヤシイ日もあったから、いま思えば前兆ということになるのかもしれないので、急にダメになったとは言えない。しかし、ここまで大きなガタが出たのは、異動後の歯車として初めてだと思う。

一人で回っているわけではない以上、スピードは落とせない。落ちない。前歴のある僕は、完全に故障してしまう前に逃げ出す必要性も感じる。逃げるといっても、家族を路頭に迷わすわけにはいかないから、会社を辞めようなんて考えてはいない。うまく立ち回ってイマよりもっと居心地のいい高みを目指す。より強大な権力を手に入れて……これじゃメビウスの輪だっつーの。キリないよ。

@いや〜原稿にする元気が出て来てヨカッタ。注油完了！マジあぶないとこでした……アオ過ぎっスね。



※戸面原ボートセンターまで、富津中央ICより所用約16分です。

自然美溢れるダイナミックな釣趣！

# と づ ら は ら 戸面原ダム

四季のへら鮎釣りを楽しむなら

料金	1日3000円	営業	5月~8月 AM5:30~PM4:30
ボート		時間	9月~10月 AM6:00~PM4:00
定休日			11月~2月 AM6:30~PM3:30
毎週木曜日			3月~4月 AM6:00~PM4:00

☎0439-68-1587

戸面原ボートセンター

千葉県富津市豊岡2874-1

## 九州からの電話。

伝説のトーナメント大竹(照夫)君から電話があったのは、5月の初め頃だったと思う。

相変わらずの元気な声。大竹君とはほとんど連絡を取り合っていないだったので、ちょっと安心した。それでも、釣りをやめられっこないのは分かってた。どんなに業界に失望していても、へら釣りそのものを憎んではない苦で、きっかけさえあれば本気になるのは目に見えていた。

もともとマイナーなへらという釣りジャンル、さらにその中のトーナメント人口は、恵まれた野釣り環境の九州において、とても少数だと言えるだろう。しかし、大竹君がふらっと訪れた吉野池は、G杯やクラブ対抗の予選で使われる管理池だった。マニアックな釣り人が集うであろうことは容易に想像出来る。一昔前のトーナメントとはいえ、背中から発するオーラに、大竹君の存在が気付かれない筈がない。

大竹君に声をかけたのは、小野さんと田中さんという方。地元ではかなり有名な「チームアドバンス」というクラブの方らしく、大竹君をクラブ対抗予選に参加させることに成功した。これは、おもいっきりへそを曲げていた大竹君にしてはものすごい出来事で、まだお会いしたことのない両氏には感謝したい気持ちでいっぱいである。数年ぶりの本格始動に際し大竹君は、

「椎の木湖で待つてるからよあ」だの、

「G杯も同じ池でやるから出るよ」だの、

完全に調子を取り戻している様子。これで僕は安心して、連載を強制終了させることが出来る。以前と同じように、次は大竹君が引

き継ぐのだ!

大竹君から「みんなは元気だよっての。」という言葉を聞いた時、なんととも言えない感情が湧いた。いつも何に對しても毒づく大竹君だが、24時間そんなキャラでいられる筈はなくて、やっぱりというか当然だが、他人を氣遣う心はちゃんと持ち合わせている。そして、寂しさを感じる心も。

「そういえば、萩ちゃん(萩野孝之氏)が今年からゴールデン(クラブ)にいるらしいよ」(里ちゃん註・本人確認済みです)

僕の言葉に驚いた大竹君は、

「マジ?」時代は動いてるねえ!」と、絶句。

そう、時代は動いている。僕と大竹君が知り合って、そうとうな年月が過ぎた。この連載も、すでに丸6年が経過した。

再開したばかりの大竹君だが、僕より先にトーナメントシーンに返り咲く可能性は極めて高い。そんな中、僕は何も進歩していない気がするのだ。僕は何処へ向かっているんだろ(いやいや、トーナメントでしょ! by all)。

## ひげ縛り。

ナリースの5月例会は谷養魚場で行われた。ヒゲが効くということ、ヒゲ縛りでやってみようという提案が一部から上がった。

「縛り」というのは、メンタル的には実は楽な勝負だ。釣り方の迷いがなくなるからである。もっとも、苦手意識を持つ釣り方で縛られてはたまったものではないという声もあると思う。だから、それなりに引き出しを多く持っている釣り人にとっては、という前提になるのかもしれない。でも、釣り方そのものに迷いがなくなるというのは共通のメリットだし、釣りはみな自分が一番だと思っっているから、少々苦手意識のある釣りで縛られた方が逆に燃えるのではないかとさえ思うのだが。

でも、僕は縛りが嫌いだ。

年間レースを争う月例会で、釣り方を限定するのはいいことではないと考える。どこをヤマと捉えるか、どこで大博打を打つかは、会員それぞれに1年のプランがあるだろうからだ。間違いのない、「カタい釣り」が、全員に喜ばれるとは限らない。「ない釣り」ならなおさら歓迎されないだろう。どうしてもやりたければ、一部の有志でやればいい。月例会参加の全員に強制するのは却下し、僕も参加しないことにした。

僕は、「ヒゲは霞だ」と以前に書いた。カスミである。誤飲を狙うのだ、と。誤飲の確率を高めるためには、ヒゲがバラケの粒子から遠い所にあるよりは、煙幕の中心に近い所にあるべきである。「同化」と言ってもいい。そして当然ながら、へらもバラケの煙幕の内側に厚く寄っていることが前提となる。だから、暖期のセットとして認知されているわけであ

る。イマ風に言えば接近戦ということになるが、「誤飲を狙わず、選んで食わせるべき」(by 岡田清)「固形のクワセを用いたセットの接近戦よりも、さらに近い、超・接近戦である。当然、ダンゴ地合に紙二重の渋さであったり、そのまんまダンゴでもイける地合が使い時であるならば、ヒゲセットをかますのに、両ダンゴから入るのは間違いないではない。というより、情報を得るためにダンゴから入る「へき」ではないだろうか」とさえ思う。短時間勝負で決め打ちなら話は別かもしれないが、僕がヒゲ縛りに参加したくなかった一番の理由はこれだった。こだわり、である。

ただー! 「一部の有志のヒゲ縛り」が、カッパギ大会♡も兼ねるとなると話は別で、僕も1投目からヒゲをスタンバイ。みんなの白い目など全く気にせずに、エントリーを高らかに宣言。なんせ節操のない僕なのだ。こんなのが会長なんです、ナリースって…

## 粒子で同化。

ヒゲ縛りで始まったはいいものの、降りしきる冷たい雨のためか、ウキはときおりジャミアタリを伝えるだけで、いつこうにへららしい動きに変わらぬ。これはほとんどの会員が同じようで、開始後1時間ではまだオデコの人が大半だった。

ウドン組にはいくらサワリがあるようなので、バラケの煙幕に突入するほどのへらの活性はなく、どちらかと言えば遠巻きで、粒子を拾っているだけということになる。完全に季節は逆戻りしていた。

それでも「縛り」である。カッパギの権利さえ放棄してしまえば、年間レースは捨てることにはならない。幸いなことに、年間上位は全員が縛りに参加していたため、誰も釣り



素晴らしい仲間が集まったナリーズ、鋭意活動中。彼らのおかげで、江成は今、ようやく釣りに「熱く」なり始めている。今までは言い訳ばかりだったもんなあ（苦笑）。例会での成績も、なかなからしい。例会後のノウガキ大会も、すこぶる盛り上がっているらしい。谷養魚場で行われた5月例会も、そうとう盛り上がったらしい（ノウガキ大会も…）。彼らの想いに報いるためにも、そろそろ会長がガツンとかます番だ！  
by 里ちん



「非常に厳しい釣りだった」と聞いた、G杯鬼怒川大自然会場。しかし、皆、条件は一緒。通る人は通るのである。いよいよアニキは6月1日に富里乃堰で行われる予選に挑む。その翌週には、ダイワヘラマスターズ。近年希に見るほど釣りに対して熱くなっているアニキ。ナリーズの存在も大きい。今年こそ、復活なるか!?  
by 里ちん



ナリーズ激戦！&ヤケ食い！

photographs by mimi

僕らのヒゲは、正月の段底を除外すればほぼ1年ぶり。ジャミがキツイことからポソで浮かす作戦を取り続けていたが、へらの寄りが少しだけ厚くなったタイミングを完全に見逃していた。そのため、「へらはいない」「いいへらが来た時だけ釣りにいく」という考え方を、いつまでも引きずり過ぎてしまった。ジャミが薄くなった分、追いの悪いへらになるべく反応させるような軽ネバのダンゴを打つたのに、なかなか切り替えられなかったのだ。試行錯誤の過程の中で、ベレットの粗粒子、いわゆる「粒」を多用して、固形セットに近いイメージで釣りを組み立てていた時間帯もあった。ヒゲもしっかりと巻いた。添加剤は入れなかったの、ポウルに入れるとそれなりに開く。確かに中心の存在は確認出来たから、完全な霞とは言えないかもしれない。しかし、その中心からかなり離れたところで吸い込んでも、もしかしたらハリまで届く可能

方の変更はしなかった。もちろんフライドもあるだろう。ただ、そんな無理地合こそ、勉強のチャンスでもある。本来は例会で実験をするべきではないのだと思うが、縛りがもたらした思わぬメリットに、みな熱中していたようだった。午後から若干地合が上向いたのもあるが、各自工夫してなんとかヒゲで釣り切った。優勝者もヒゲ縛りから出たことで、例会後の宴会は久しぶりに熱いノウガキ大会となった。ここ最近では釣り仲間の集まりとは思えないような下世話な話が幅を利かせつつあったので、会長としては軌道修正出来たことに非常に満足感を覚えた。「こーが、軌道からはみ出したのはオマエだろっ」(by all)

新作!!

慎重にテストを繰り返した底釣り専用タイプ。杉山作初の美しいブラックボディで登場!

【底釣りスタイル】

杉山作

繊細な「底」を完全表現する専用タイプ。

- ボディは羽根2枚合わせ5.5mm径。精悍な極薄ブラック塗装仕上げを採用
- ダイソン製ホワイトトップ（内径1mmパイプ）採用。軽量かつ視認性大幅UP!
- サイズ：一番（T110cm B9cm カーボン足4.3cm）～六番（T17.5cm B16.5cm カーボン足4.7cm）

ワンサイズごとにバランスを突き詰めた設計で、スムーズなナジミと理想的な返しを実現!

●定価1本7,350円（税込）

取り扱い店（五十音順）

埼玉・越谷 かわせみ（☎048-969-5067）茨城・下妻 こやの釣具（☎0296-44-1619）東京・渋谷 サンスイ川釣り館（☎03-3499-5025）

埼玉・入間 へらの三水（☎042-964-2093）栃木・益子 フィッシングハウスほその（☎0285-72-2215）神奈川・川崎 鮎仙人（☎044-287-7470）

東京・吉祥寺 丸勝（☎0422-22-8923）東京・青梅 吉川釣具店（☎0428-22-2467）

# 釣番付

## 料金表

50名まで	55,000円
51名～75名	60,000円
76名～100名	65,000円
101名～125名	70,000円
126名～150名	75,000円
151名～175名	80,000円
176名～200名	85,000円

- ・仕上がりは黒一色です
- ・人数は成績表部分のみ数えます

## 書体見本

1. ぐりへの釣会
2. ぐりへの釣会
3. ぐりへら釣会

- ・番付をインターネットで公開できます(無料)

お問い合わせご注文はお早めに!

取扱店: 柴舟 03-3613-2727

## ウキや小物の路入れに 転写シール

初回注文黒一色、300銘で8,500円～  
2回目以降同じものをご注文の場合  
は3,500円～

- ・8書体、8色を御用意しています
- ・角印も作れます

## 取扱店:

柴舟(東京都江戸川区)

03-3613-2727

佐伯釣具店(神奈川県川崎市)

044-911-3722

SANSUI川づり館(東京都渋谷区)

03-3499-5025

フィッシング中原(神奈川県川崎市)

044-711-8266

鮒仙人(神奈川県川崎市)

044-287-7470

お問い合わせ、ご注文は各取扱店  
または下記HPまでどうぞ

office27  
あとりえぐり

http://www.office27.com  
E-mail: info@office27.com

5月25日のG杯予選は鬼怒川大自然で行われた。  
多くのナリースメンパーが参加することになった。前々からさかんに情報交換がされていた。本当に熱いメンバーばかりだ。  
一人くらい通過するかな、と思っていたのだが、残念ながら誰も通過出来なかったようだ。携帯メーリングリスト(ナリースでは回覧板と呼ぶ)に誰もホストしなかったから、すぐに分かった。バリバスのときは、僕はみんなにからかい(ねぎらい)のコメントをホストした。今回は、ダメだったメールをくれた会員には個別に返信したが、回覧板には会

…薄々お気づきの方もおられるだろうが、里は今、江成と若干距離を置いている。変な勘ぐりは無用で、仲が悪くなったなんていう次元の話じゃないのであしからず。僕は優しい(?)ので、つるむとどうしてもアニキに対して感情移入し、甘く接してしまうからだ。一緒に竿を並べてしまえば楽しくて、「目的」が曖昧になってしまうからだ。  
全ては「復活」のためである。  
今言えるのは、この一言だけ…。

by 里ちん



性を考えると、やはり固形セセットではない…。  
選んで食わせるべき「クワセ」に誘導するつもりで粒を入れて反応が高まり、実際に釣れるようにはなっても、肝心のクワセは「霞」。バラケの煙幕の中で、ではなく、遠巻きの子のそばに置いてあるのは矛盾にはならないのだろうか。  
釣りながら、おそろくほとんどの読者の皆さんにとってはどうでもいいことか悩んだが、霞が煙幕ではなく、粒子に同化しても構わ

ないことに気付いた。「遠巻きの子に反応させつつの誤飲」というパターンがあってもいいじゃないか。へらが最も厚くいる位置に置く方が、自然だ。煙幕の真ん中にヒゲを仕込む方が安心出来る心理は分からなくないが、そこにへらがいないければ何の意味もない。  
午後、地合が好転し、タナが出来始めた。煙幕の内側への突入が始まったのに、ここでも僕は切り替えが遅れた。月イチではロスタイムが多い。それでも、そんなことは承知

の上で、現在の僕がある筈だ。受け入れてひとつずつやっていくしかない。例会なら全てを試す時間はあっても、短時間勝負では普通は決め打ち。もちろん僕は、どんなケースにおいても消去法で探っていくしかないが、運良く早い段階で正解をチョイス出来さえすれば、短時間勝負でも勝てないことはない。そう信じたい。



長としての公式なコメントは出さなかった。すると、  
「生きてるよね?」  
という電話がかかってくる有様。先月の原稿を受けて、本当に心配してくれているのだ。「ホントに忙しかったただけですよ! まだ原稿書いてないんですから! 面白おかしく書いている部分もあるんですから、全部真に受けちゃダメですよ!」  
僕のことなんかより、結果報告をしるっての! (涙)  
次週は富里乃堰会場。今度は僕が挑戦する番だ。

へら鮎釣りの楽しさを追究し続ける…

No.511  
July.2008

7



# へら鮎

九隻  
信

Monthly fishing magazine herabuna

# 北海道 大沼

石井旭舟「へらぶな浪漫街道」スペシャル。  
壮大なスケールを誇る「憧れの地」に、  
巨べらを求めて…。  
5日間に亘る、超感動巨編！



昭和41年5月4日第3種郵便物認可  
平成20年7月1日発行  
第43巻第7号(毎月1回1日発行)

# 休日・混雑時の 正攻法。

## 夏の食い渋りには

# 「一発」

暖期の、混雑した野釣り場や準山上湖を攻略する際、  
両ダンゴの釣りでは手も足も出ない状況に陥ることがある。  
そんなとき、迷わず次の一手として選びたいのが、バラケに「一発」の釣り。  
とりわけ、強力な集魚効果のある「段差バラケ」と、  
「一発」のコンビネーションは、  
その食い渋った状況でも、大きく流れを変えてくれるはず。  
逆境に強い味方として、戦力に加えておいてはいかがだろう。



極めてハリ持ちが良く、  
食い込み抜群の魅エサ。  
●一発 (小) 4g (極小) 3g (ミクロ) 2g



寄せ負けない集魚力と、  
圧倒的に芯残りの良い  
バラケエサ。  
●段差バラケ 750g

**丸マルキユー株式会社**  
〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀2-4

お問い合わせ 本社・桶川工場:048-728-0909 大阪支店:072-824-0909  
九州営業所:0877-44-0909 九州営業所:0942-82-0909  
ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

釣り場でエサに困ったら  
iモード・ホームページ  
<http://www.marukyu.com/i>

マルキユーホームページ内の「へら鮎天国」では、新鮮な釣果情報を掲載中。あなたのお気に入りの釣り場の情報が、見つかるかも。  
<http://www.marukyu.com/> マルキユーへら鮎メールマガジンも、お申込はこちらから。

釣れるヒント満載!!  
**へら鮎天国**

雑誌 07907-07



4910079070780  
00952

定価 1000円

本体九五二円